



平成29年11月17日

第421号

新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

## みんなで子育て！

校長 高橋 祐二

晩秋を迎え、寒さが一段と厳しくなってきました。しかし、子どもたちは、寒さに負けず日々の教育活動に邁進しています。

保護者、地域の皆様におかれましては、この度の「創立30周年記念式典」「記念祝賀会」「ふれあい文化祭」の実施にあたり、大変、ご協力をいただき誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

特に、文化祭での体験活動では、多くの地域の皆様にお力添えをいただき、子どもたちは、素敵な思い出をつくることができました。きっと、子どもたちは、地域の方とのふれあいを通し、自分たちが地域の方から愛されていること、期待されていることを感じたことと思います。これからも、子どもたちに目をかけ、声をかけていただきますようお願いいたします。

さて、11月14日（火）、東豊学区育成協議会主催の講演会が開催されました。講師の新潟青陵大学大学院教授の 碓井 真史（うすい まふみ）様より「みんなで子育て ～支え合いの心理学～」という演題でご講演をいただきました。1時間半のご講演でしたが、大変、示唆に富んだ内容でありました。中でも次のことが印象に残りました。

- やる気のない子はいない。条件がそろえば、どの子も動く。
- 昔は、得意、不得意があっても、いろんな違いを認めていた。今は、ある程度のレベルを求めてしまう。ありのままの姿（違い）を認めることが大切である。
- どの子も、その子なりに頑張っている。その頑張りを認めて欲しいと願っている。



**みんな子どもの幸せを願っている。親や教師、そして、地域の人々も、子どもたち一人一人の頑張りを認め、愛ある言葉、「親切」な言葉を子どもたちにかけていくことが大切である。**

拝聴していて、「そうだよな～」「大事だよな～」と納得するばかりでした。そして、心理学者である先生から、こんな興味深いお話がありました。

**心理学的に、どんな人が幸せなのか？ 幸せになれるのか？**

- ① 「ありがとう」と言える人
- ② 人に親切にできる人
- ③ 目標を達成した人でなく、目標に向かって努力している人

子どものしつけ、教育でも、以上のことは大切なキーポイントになるようです。

人に優しく思いやりをもち、感謝の気持ちをもつ。そして、自分の目標、夢に向かって邁進する人間。そんな子育てができたらいいなと感じました。そのためには、この度の、ふれあい体験活動で、子どもたちが、地域の皆様にお世話になったように、いろんな大人が、いろんな立場で子どもにかかわり、その子のがんばりや良さを認め、励まし称賛してあげることが大切なのだと感じました。まさしく、「みんなで子育て」を再認識した講演会でありました。

校内の読書郵便で、3年生の女の子から私に、おすすめの本の紹介がありました。「わたしのおすすめの本は、ぼくのふとんです。校長先生にあっているふとんは、いくらぶとんです。わけは、おすしがすきそうだからです。」読んで、思わず大笑いでした。